

宮城県における復興祈念公園基本計画

検討調査有識者委員会 資料

【前回委員会の概要】

平成27年3月2日

(1) 市民ワークショップに関するご意見

- 【阿部部会委員】 市民ワークショップの意見から、「自然」、「教訓と伝統知の継承」、「思い出」、「憩い楽しめる場所とイベント」という大きな4つのテーマが導き出された。今後は、これらの主従関係をきちんと設定した上で、空間デザイン及び植栽計画の中にいかに組み込むか検討していきたい。
- 【涌井委員長】 被災者、ご遺族、ワークショップで頂いた意見を重層的に考えることが重要。追悼と祈りという個人のそれぞれの属性に関連する思いの集積のような、決して忘れることができないことを基盤にしながら、石巻、あるいはもっと広域な地域の中で、未来に対してどうするのかを整理していかなければならない。

(2) 基本コンセプトに関するご意見

- 【佐々木部会委員】 ここに多くの方々の生活があったことをどう伝えるかが大きなコンセプトになるものと考え議論を重ねた。建物が全てなくなった中で、街路の位置が分かるということが、まちの記憶を伝承する一つの手がかりになるのではないかと考え、街路パターンを空間デザインのベースとし、そこに湿地や植生の状況を重ね合わせていくという考え方が生まれた。街路パターンを残すだけでなく、一軒一軒の家のスケール感を再現できるような区画も必要と考えている。
- 【森山副委員長】 この場所で、子供たちが人への思いや郷土への思いを学ぶことができれば、復興祈念公園としての大きなテーマが実際に芽生えて育ち始めるのではないか。
- 【中静委員】 街路と、湿地や回復していく植生がそのまま残ることで、被害を受けた地が元々どのような場所だったかが分かるという意味で非常にいい考えだと思うが、道路で海と隔別された形となるため、何らかの形で海との接点ができないか。また、低地があって、その背後に日和山があるという関係も大切であり、日和山との関係も意識した形で設計をしてほしい。

(次頁に続く)

(2) 基本コンセプトに関するご意見(続き)

- 【牛尾委員】 なるべく街路の形を変えないでうまくデザインし、各街区でそこが何丁目であったかが分かるようにすると、まちの記憶が残ってすばらしいものになるのではないか。
- 【古藤野委員】 植樹は、自然によって失われた場所に人の手で木を植えていくという意味で非常に価値のあることであり、沿岸部で同様の活動をしている市町村と連携できればより強いメッセージを発信していける。植栽は、四季折々に命を感じ、美しく、明るくて人が集うような計画が必要。
- 【亀山委員】 他の被災地やそこでの犠牲者に対する思いをはせる場も必要であり、宮城県全体、あるいは岩手県も含めて、津波の教訓をしっかりと残していくための場としての位置づけも必要。
- 【松村委員】 空間の形として記録を伝承し、残していくことの一方で、より精密な記憶や経験も残していかなければならない。IT技術やAR技術を使って、その場所に行くと、かつての記録がデジタルデバイス上で確認できるようなアイデアもあり得る。
- 【中静委員】 今も水位の変動が大きいということが非常に重要。このように沿岸地域で水位変動がある場所には、そこにしか住むことのできない動植物が多く、そのような貴重な環境を積極的に生かすことを考えるべき。もともとの低湿地が広大な面積であったということを最大限生かすように設計をしていくのがよい。
- 【涌井委員長】 このコンセプトプランをしっかりとデザインしていくことで、とても素敵なものになっていく可能性が高い。一方で、閣議決定の精神を投影した姿にするためには、更により広域な検討が必要ではないか。この地が北上川と海の合作のエリアであるという点に、しっかり腰を据えた検討をしてほしい。

(次頁に続く)

(2) 基本コンセプトに関するご意見(続き)

- 【櫻井委員代理】この公園は県を代表する公園であり、そのコンセプトも県民を代表する意思とならなければならない。示されたコンセプトは非常にわかりやすい、良いコンセプトだと思うが、各市町で整備される祈念公園とうまく連携していく必要がある。
- 【森山副委員長】ここは人と自然の関係を象徴する場所だと思うので、人と自然の関係を学ぶ場所として、遊びや植物、海外の方との交流などを通して生きることを学べるような場所になればよい。
- 【涌井委員長】この公園と日和山との関係は避けて通れない議論であり、現実的な避難路としての設定もあるが、同時に未来に対して石巻あるいは我々の覚悟を示すデザインになる。日和山への避難路などをしっかりとデザインすることが、よく見ると日本全体の物語だと読めるような展開につながると思う。あまりに抽象的になると身に迫るリアリズムから遠ざかる危険性があり、等身大のところから未来を見る目線が大事。
- 【阿部部会委員】気候との関係も重要であり、特に夏は南から、冬は北西からかなり強い風が吹くので、そのあたりにも配慮して植栽計画を検討してほしい。